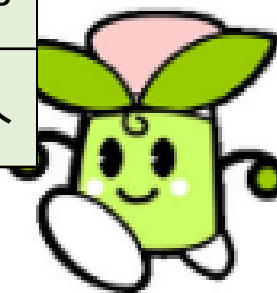


介護予防・生活支援サービス  
(訪問型サービスB)  
モデル事業について

# 生駒市の概況紹介

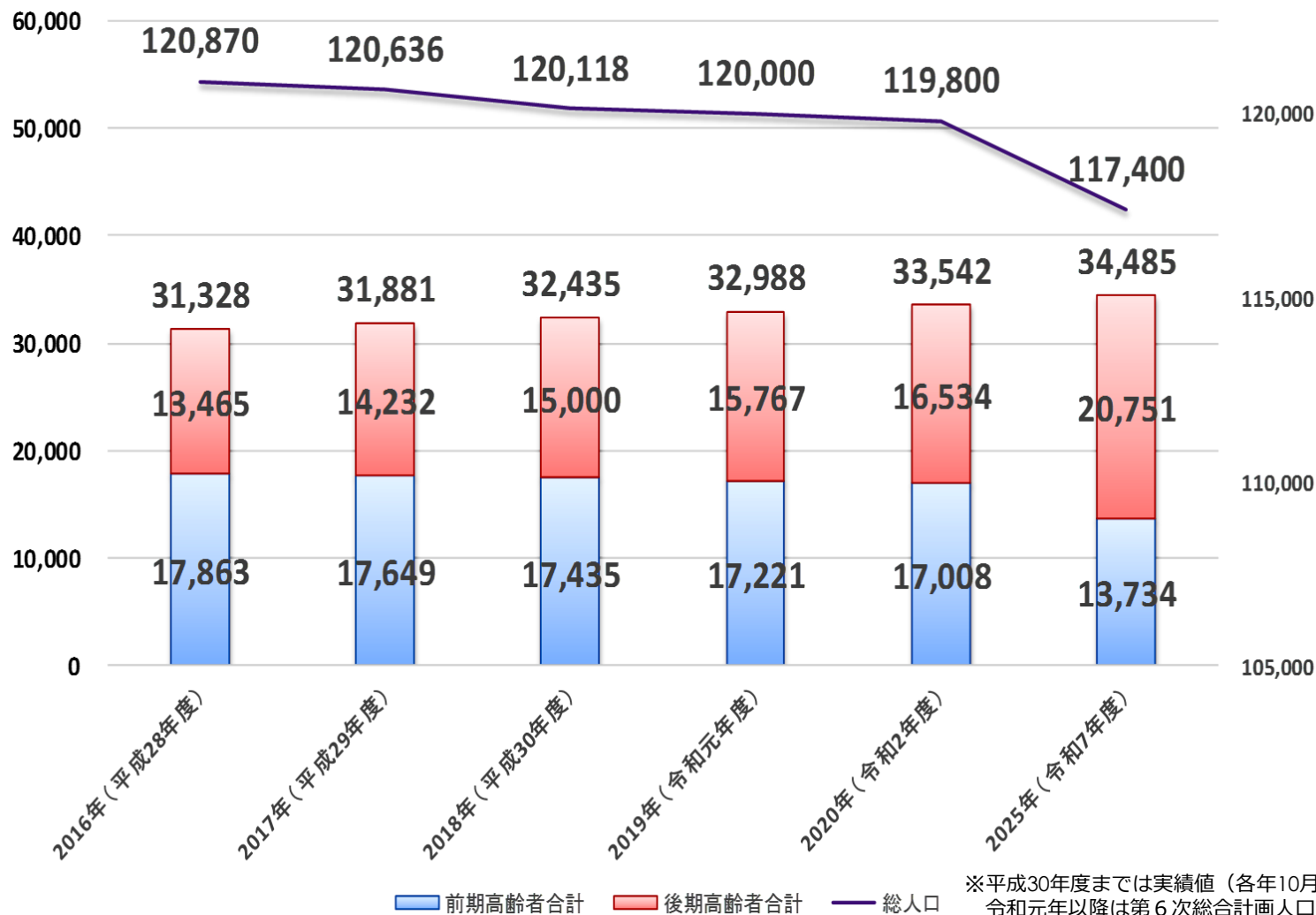
## 基本情報 (R2.2.1)

人口	119,425人
第1号被保険者数	33,492人
65～74歳	17,172人
75歳以上	16,320人
高齢化率	28.04%
ひとり暮らし高齢者数	3,302人



# 人口推計

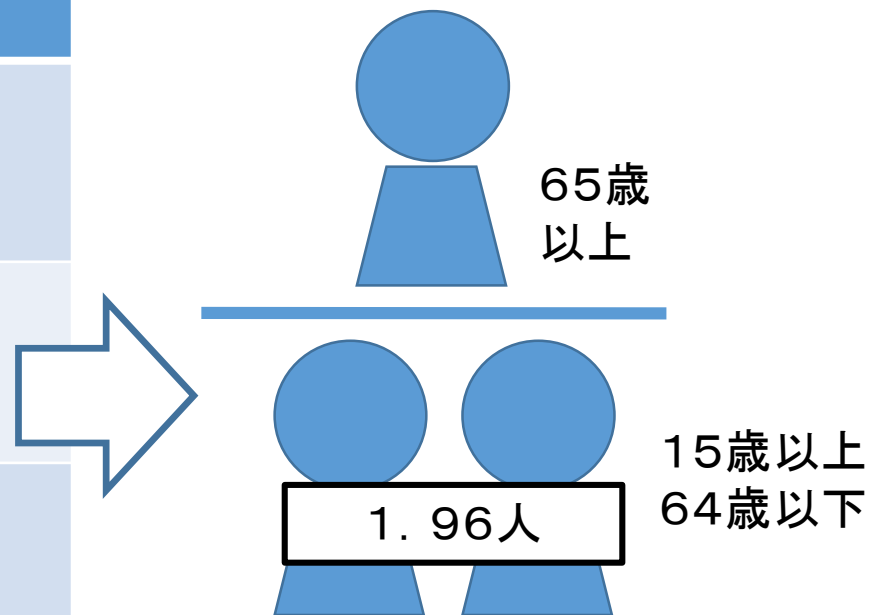
2025年（令和7年）には団塊の世代の全てが75歳を迎え、生駒市では2025年にかけて75歳以上人口が、全国平均を上回る伸び率で急速に増加する見込み



※平成30年度までは実績値（各年10月1日現在）  
令和元年以降は第6次総合計画人口フレームより

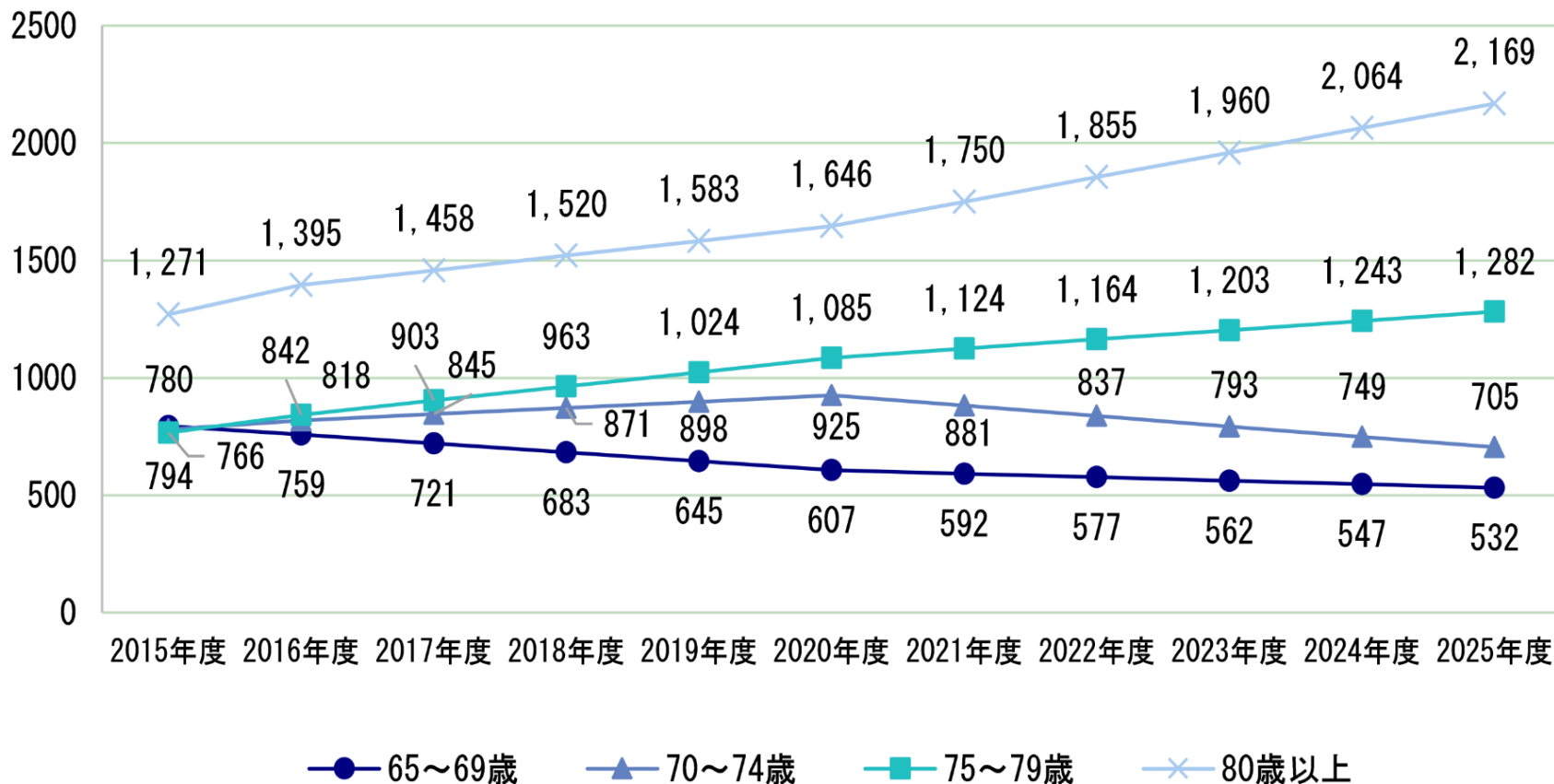
# 2025年には

総人口	人数
75歳以上 (80歳以上)	20,751人 (12,034人)
65歳～74歳 (65歳～79歳)	13,734人 (22,451人)
15歳～64歳	67,623人



■生駒市人口ビジョンデータ【第6次総合計画人口フレーム】から抜粋

# ひとり暮らし高齢者数の将来推計



※第7期介護保険事業計画より抜粋

# 生駒市の虚弱な高齢者の課題

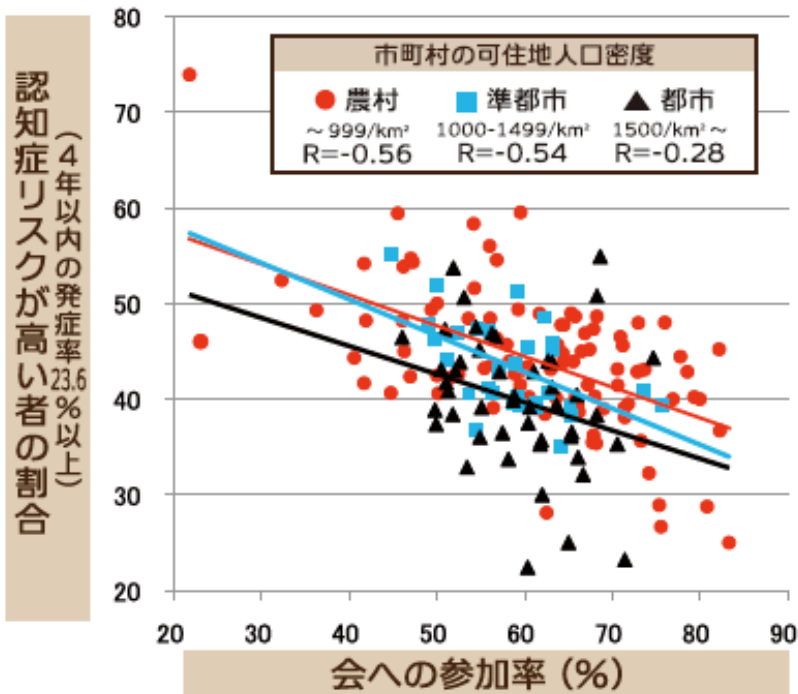
- 坂道の多い街並みにより、膝・腰痛などによる閉じこもりがちな高齢者の増加  
→ 買い物・ゴミ出し、移動
- 高齢者数の増加に伴い認定者及び認知症高齢者が今後、急速に増加  
→ 介護従事者確保の課題
- 後期高齢者の単身世帯が増加  
→ 地域の見守り・互助の仕組みによる支援体制の構築が課題

支え合いについて

# 地域組織参加率が高いほど 認知症リスクのある人が減る

JAGES2010 10 道県 24 自治体 175 小学校

後期高齢者 n=29,876 人



参加率が高い地域で  
認知症リスク者割合は  
低い

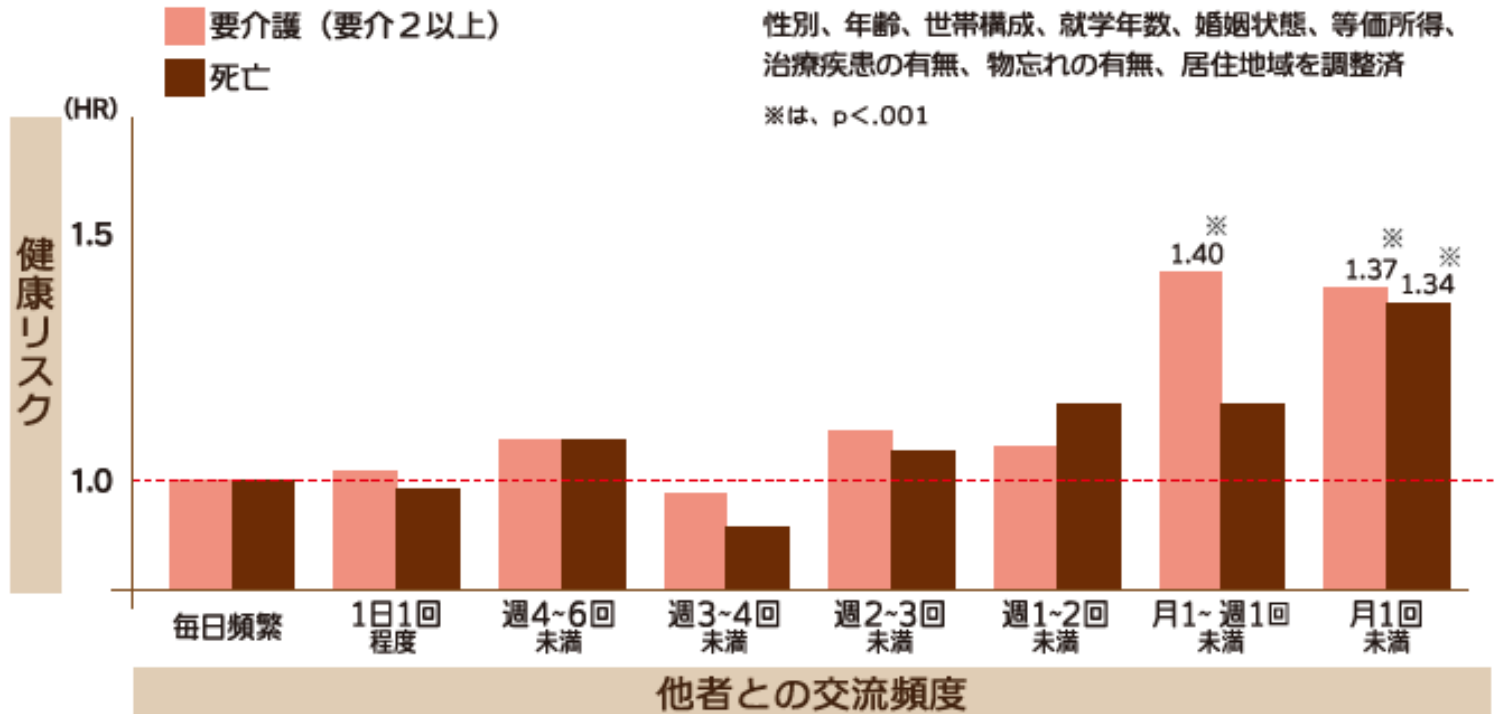
## 8種類の地域組織

- ・政治団体
- ・業界、同業者団体
- ・ボランティアのグループ
- ・老人クラブ
- ・宗教関係団体
- ・スポーツ関係の団体
- ・町内会、自治会
- ・趣味関係のグループ

いずれかへの参加率



# 週に1回、人との交流があるだけで 要介護・死亡リスクがぐっとさがる。

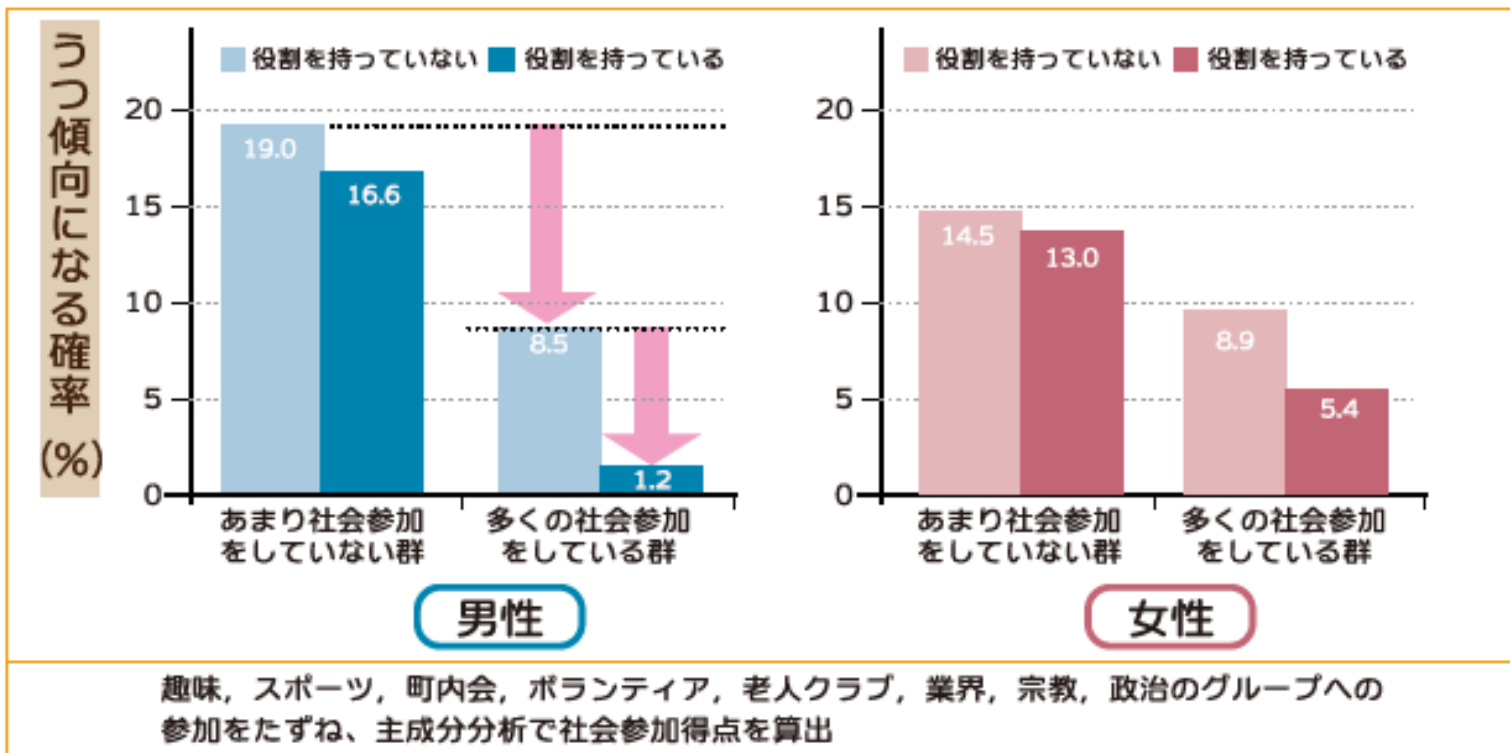


10年間のコホートデータを使用。約12000人を解析した結果。

斉藤雅茂・近藤克剛・尾島俊之ほか (2015) 日本公衆衛生雑誌, 62(3) より  
Press Release NO:054-14-08

# 役割を持って社会参加している 男性はうつ発症率が7分の1になる

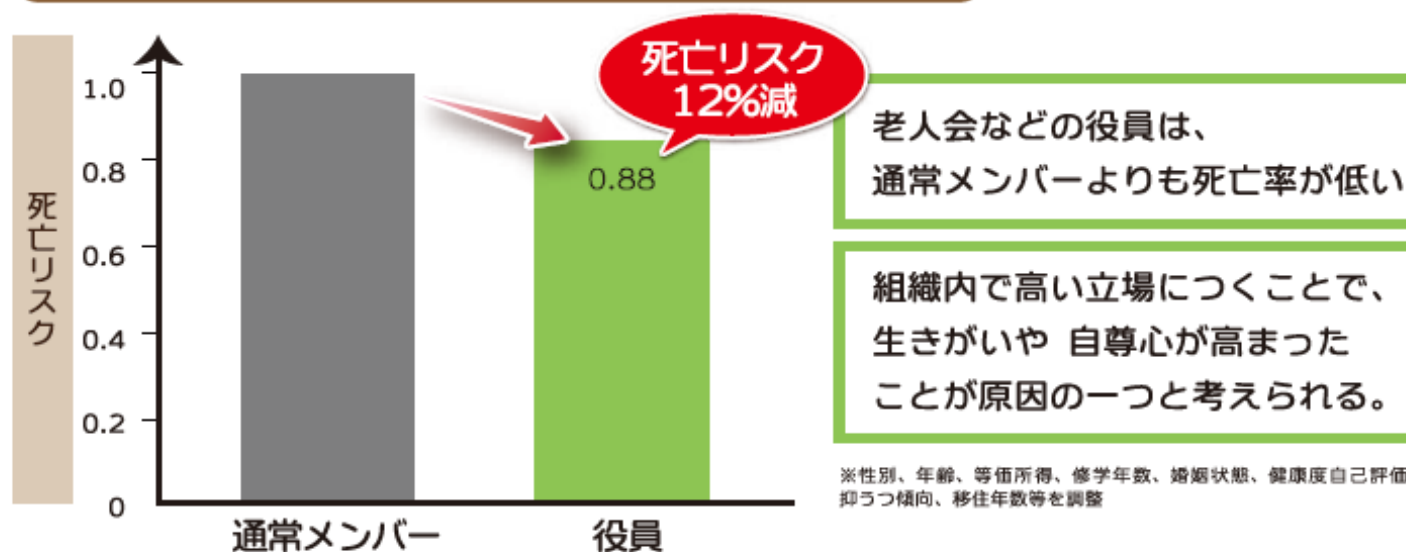
AGES 2003年調査時点でうつ傾向が無く、2006年調査にも回答した65歳以上の2728人



Takagi, D., Kondo, K., & Kawachi, I. (2013). BMC Public Health, 13: 701, doi: 10.1186/1471-2458-13-701. Press Release NO:48-14-002

# 地域で役割のある高齢者は 長生きしやすい

65歳以上の高齢者 10,271 名を 5 年間追跡した結果 ...

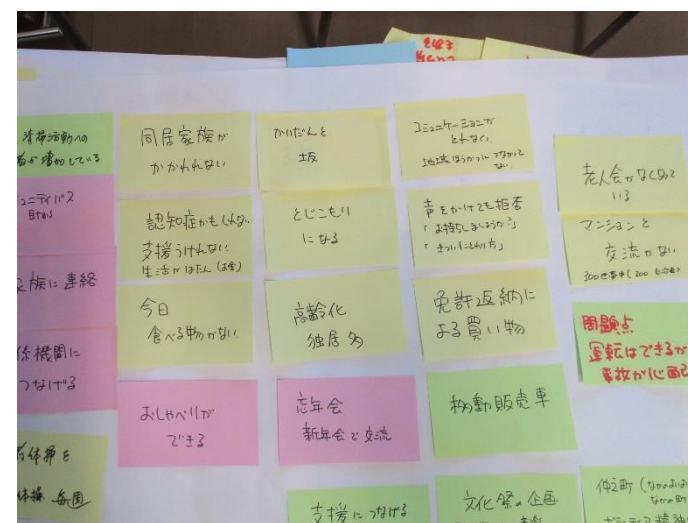


(自治会などの) 通常メンバーと役員死亡リスク比較

Ishikawa Y., Kondo N., Kondo K., Saito T., Hayashi H., Kawachi I. (2016) BMC Public Health, 16:394  
Press Release NO:79-16-09

支え合い活動は  
サポーターの  
介護予防にも  
つながります。

# 中地区意見交換会の様子



## 地域高齢者の困りごと-どんな支援が必要か?-

買物いけない人

庭の  
掃除・草引き

話し相手、  
相談

交通手段

調理・料理

ゴミ出し。重い  
ものが持てない



## 住民としてできること-どんな支援ができるか?-

買い物代行！

庭の草取りなど  
家の周りの  
片づけ・清掃！

おしゃべりが  
できる！

買い物、病院、  
銀行の付添い！

おかず等料理の  
おすそ分け！

ゴミ出し場まで持って  
いってあげる！



ゴミが出ていない時はどう  
なってる？見守りにもなる！

## 地域の助け合いの現状

困っていても実際  
にお手伝いする  
ところまでいかない

声をかけても  
→きつい断り方

近所に頼んでも  
気を遣う



## 頼みやすい、システム・仕組み

困りごとを  
伝える役

たよれる幸せ  
たよられる幸せ



●住民同士で助け合う仕組みやグループは必要だと思いますか？

	必要	不要	わからない	未記入
合計	97%	0%	3%	0%

●住民同士の助け合い活動を利用する場合、どんな支援内容が必要だと思いますか？(あてはまるもの全て)

	ゴミ出し	草取り	剪定	掃除	買い物	調理	布団干し	衣替え	外出付き添い
合計	85%	69%	46%	51%	67%	31%	26%	23%	54%

●「空いている時間だけ」「内容による」でも構いません。住民同士の助け合いの仕組みやグループが立ち上がった場合、ご協力いただけますか？

	協力可能	今は不可	不可	未記入
合計	28人	7人	2人	2人

# 介護予防・生活支援サービス モデル事業について

## 生駒市モデル事業のイメージ【概略】

サポーターが個々に助け合いの活動するのではなく、  
サポーターの調整役（窓口）になる方をおいて、  
グループで活動する仕組みを検討しています。

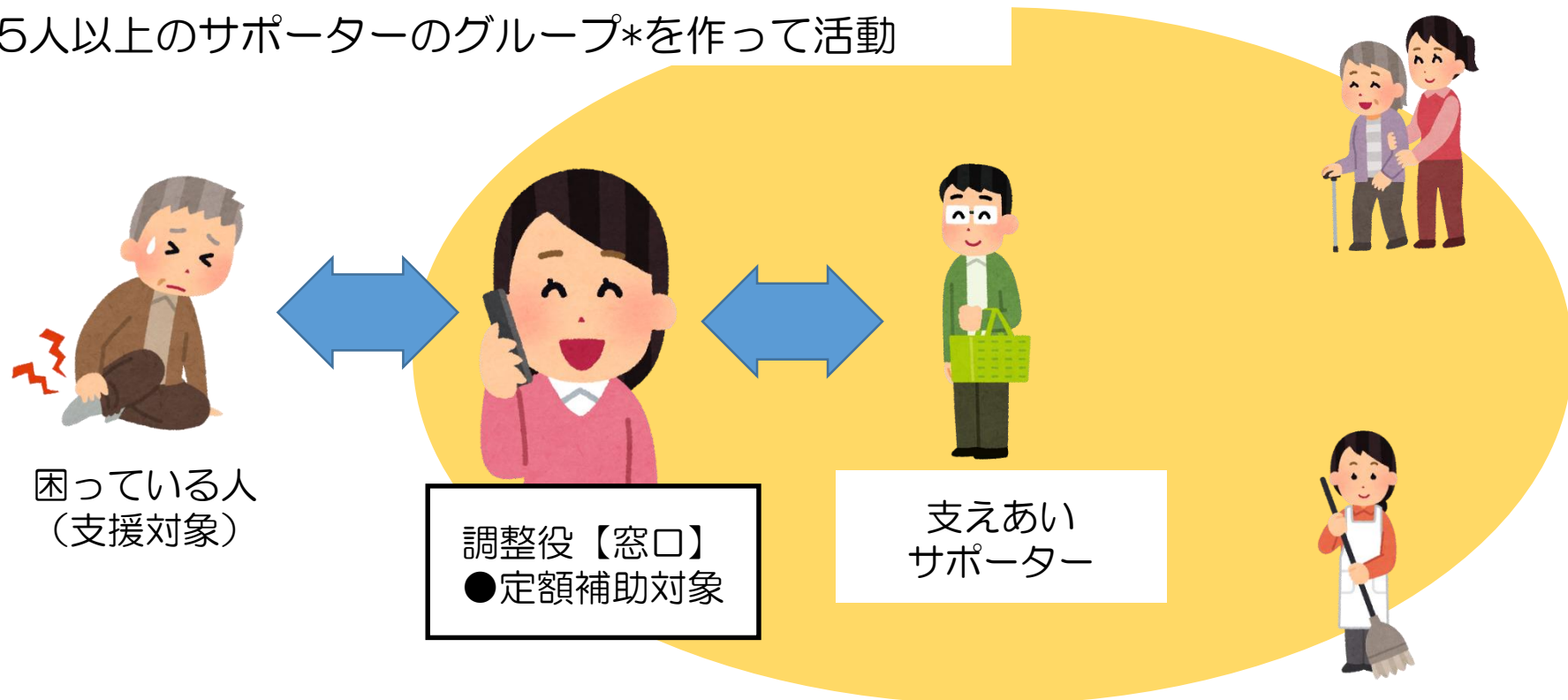


## 生駒市モデル事業のイメージ【概略】

補助対象は市民自治協議会または準備会

地域の皆さんが主体的に行う活動の運営費を、調整役の活動費として定額補助\*

5人以上のサポーターのグループ\*を作って活動



\*サポーターの謝礼等は補助対象外。利用する方に負担を求める仕組みは可能です

\*1小学校区、2つまでのグループの運営費が対象